

浦添市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

担当課	市民部 経済観光局 観光振興課	内線	3166
戦略	戦略2 産業振興を通して域外からの収入の増加を目指す		
	戦略(2)-2 浦添市の観光産業の振興に向けた各種取り組みの実施		

指標	宿泊施設の誘致数		
現況値	2015年度	0件	
	2016年度	0件	
目標値	2020年3月まで 累計	2件	
人口ビジョンにおける目指すべき将来の方向			
①	安心して結婚・出産、子育てできるまちに (自然増の確保・社会減の抑制)	②	人々が集まり、住みたく なるまちに (社会増の確保)
		③	長く住み続けられる住みよ いまちに (社会減の抑制)

目標値達成に向けての取り組み			
1	事業名	なし	
	取り組み	なし	
	内容	なし	
	改善点	観光振興課独自による特段の取り組みは無かったが、モノレール延長に伴う周辺開発事業等に参加し、観光の視点で宿泊施設の必要性について説明した。	
2	事業名		
	取り組み		
	内容		
	改善点		
3	事業名		
	取り組み		
	内容		
	改善点		

目標値達成に向け、他課（庁内）や他団体（庁外）との連携を意識したか。（平成27年度）
・モノレール延長に伴う周辺開発事業等に参加し、観光の視点で宿泊施設の必要性について説明した。
目標値達成に向け、情報収集・分析を意識したか。（平成27年度）。
・新聞報道や県内自治体におけるホテル開業の動きを注視していた。
目標値達成に向け、市民意見の反映を意識したか。（平成27年度）。
・宿泊施設の誘致は、行政だけでなく市民総意のものだと認識している。

目標値に向けての進捗状況（平成27年度の実績に対する担当課の自己評価）
A：順調に進行している。 D：進行しているとはいえない。
B：概ね進行している。 E：後退している。
☒ C：一部進行している。 F：その他（ ）
進捗状況説明
観光振興課独自による特段の取り組みは無かったが、モノレール延長に伴う周辺開発事業等に参加し、観光の視点で宿泊施設の必要性について説明した。これら取り組みを通して、事業の主管課や不動産ディベロッパーの動きが活発になっていくものと思われる。

目標値達成に向けて今後の展開	解決すべき課題・改善すべき点
	市内のどこにどれだけ遊休地や、誘致可能な場所があるのか等が整理されていない。そのため、十分な情報提供が不動産ディベロッパーなどに行き届いていない。また、沖縄に進出を検討している不動産ディベロッパーの情報を市も把握出来ていない。
	今後の取り組み
	観光振興課独自による誘致活動は困難であるため、企画課やその他関連部署と連携を図りながら目標達成に向けて取り組んでいく。また、不動産ディベロッパーに向けた情報提供や沖縄に進出を検討しているディベロッパーの情報把握も積極的に行っていく。

所見（コメント）
・指標の「宿泊施設の誘致数」について、指標設定時点（2015年度）の実績が0件であり、2016年度も0件となっています。
・実績として増加はありませんが、課題が明確に示されています。課題解決、目標値達成に向け努めてください。